

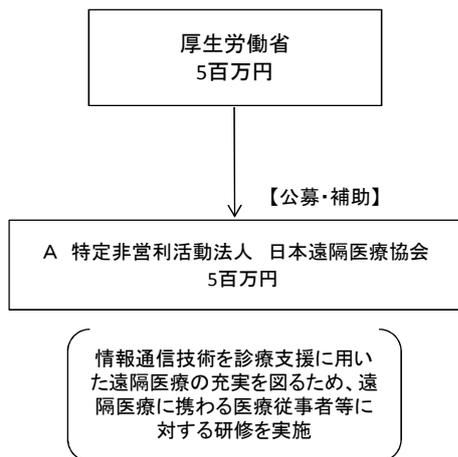
平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	遠隔医療従事者研修事業			<b>担当部局</b>	医政局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成26年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	研究開発振興課医療技術情報推進室	室長：片岡 穰		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	平成25年6月：健康・医療戦略 平成25年6月：世界最先端IT国家創造宣言 平成27年6月：規制改革実施計画 平成27年6月：経済財政運営と改革の基本方針2015			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	遠隔医療の実施を予定している医師等に対し、遠隔医療の機能や運用するためのポイントなどについての研修を実施し、知識と理解を深めることで普及・促進を図る。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	遠隔医療を行うための機器の導入の検討をしている医師等の病院関係者や、実際に遠隔医療、遠隔診療を行っている医師等を対象に、遠隔医療の目的、機能や運用していくためのポイントなどについて、情報通信システムを活用した研修を行う。							
<b>実施方法</b>	補助							
<b>予算額・執行額(単位：百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	7	7	7	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	7	7	7	
	執行額	-	-	5	-	-		
	執行率(%)	-	-	71%	-	-		
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度
	平成30年度に研修受講者数を年間100人まで増加させる	研修受講者数	成果実績	人	-	-	75	-
			目標値	人	-	-	60	100
			達成度	%	-	-	125%	-
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	研修開催件数	活動実績	回	-	-	2	-	
		当初見込み	回	-	-	1	2	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X/Y		百万円	-	-	3,390	3,390	
	X: 予算額 Y: 研修開催件数		計算式 X/Y	-	-	[6,780/2]	[6,658/2]	
平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	医療関係者研修費等補助金	7	7					
	計	7	7					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	今年度の骨太の方針や規制改革実施計画において、遠隔医療の推進が求められており、国民や社会のニーズを反映していると考えられる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地方自治体や民間等に委ねた場合、実施されない可能性があるため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	遠隔医療に携わる医療従事者等の研修を実施するために国庫補助を行うものであり、受講者数を増加させるため優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	事業内容に応じて公募を行うことにより競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		△	遠隔医療を普及させるため、受講者の参加を阻害しないよう受講料は徴収していない。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位当たりコストの削減は困難である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の経費のみの予算計上としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	研修講師への謝金等が当初見込みより少額で済んだため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		△	例年、予算要求の際に更なるコスト削減や効率化が可能か検討しているところ。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	昨年度は目標よりやや多くの受講者が研修を受講した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	補助金を専門的知識を有する団体に支出することにより、専門家による効果的な研修が実施できる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	昨年度は見込みより研修を多く開催しており、今年度は見込みを増加させている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	各地域からの受講者へ研修を実施することにより、地域へ遠隔医療の知識が普及される。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	昨年度からの事業開始で、まだ事業が広く周知されていないおそれがあったが、見込みより多くの人が研修を受講した。			
	改善の方向性	研修時に実施しているアンケートの回答等を参考にして、より研修の中身を充実させるよう検討していく。			
外部有識者の所見					
執行率低調はコスト削減と評価します。今後とも適切な予算要求と執行をすること。(井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	予算の範囲内で、コスト削減を行うとともに、目標を上回る受講者が研修を受講するなど、成果が出ていることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き適切な予算要求と執行に努めてまいります。				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新26-013		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
(単位：百万円)

A. 特定非営利活動法人 日本遠隔医療協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
使用料及び賃借料	会場、機器借料	1.6			
人件費	人件費、謝金	1.3			
旅費	講師旅費等	1.3			
その他	消耗品費、会議費等	1.2			
計		5.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人日本遠隔医療協会	情報通信技術を診療支援に用いた遠隔医療の充実を図るため、遠隔医療に携わる医療従事者等に対する研修を実施	5	-	-